

RYOBI

ダイヤモンドコアドリル

DCD-80

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6983117



乾式用

●ご使用に当たりますの注意事項

ご使用前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

- 壁や床などに穴あけをする前に電気の配線や配管などが施工されていないことを確認して下さい。電気の配線の場合は感電、配管の場合はガス漏れや水漏れの恐れがあり危険です。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますと、モーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶついたりした場合は異常の有無を確認した後ご使用下さい。
- 運転中は刃物及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。刃物は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めて下さい。安全で能率よく、きれいな仕上面が得られます。
- 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行なって下さい。ネクタイ、袖口の開いた服装は機械の可動部に巻きこまれる恐れがあります。屋外の作業はゴム底の運動靴等をはいて下さい。
- 本機はお子様の手が届かない所に保管し、湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあたるところは避けて下さい。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には、調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
- さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確認し、使用後及び停電の際にはさし込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
- 整備点検、部品交換の際は必ずスイッチが切れていることを確認し、さし込みプラグを電源より外して下さい。
- 運転中機械の調子が悪かったり、異常に気付いた時には、直ちに使用を中止して下さい。
- 作業中は安全メガネをかけて目を保護して下さい。また、ほこりの多い作業にはマスクをかけることをおすすめします。
- 刃物は使用説明に従い、完全に取付けた状態でご使用下さい。不完全な取付けで運転しますと刃物が抜けたり折損する場合があります非常に危険です。
- スイッチを入れる前には、本体をしっかり保持し、モーターの回転による反力で振り回されないようにして下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には、作業前の機械の点検と定期点検が必要です。定期点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービパワーツール取扱販売店、リョービ販売㈱営業所にお問い合わせ下さい。

●特 長

- 過負荷時に働く安全クラッチの採用により、作業の安全性、本体の耐久性が向上しています。
- 軽量設計、Dタイプハンドル、ハンドルジョイント付きの補助ハンドルの採用で大変使い易くなっています。
- 強力モーターで余裕のある作業が出来ます。

●仕 様

- 電圧 100V
- 電流 8 A
- 消費電力 760W
- 無負荷回転数 1000R P M
- 穴あけ能力
コンクリート
(ダイヤモンドコアビット使用) ... 80mm
鉄工 13mm
木工 30mm
- 本体重量 2.7kg

□二重絶縁

●スイッチ

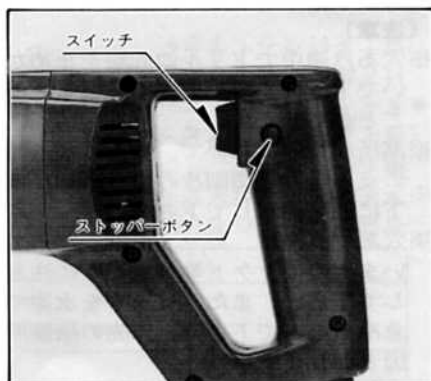
- スイッチ操作はスイッチを引くと入り離すと切れます。またスイッチを引いた状態で握り部の側面にあるストッパーボタンを押すとスイッチから指を離してもスイッチは入ったままになります。この場合、再度スイッチを引くとストッパーボタンがはずれ、スイッチは切れます。連続使用の場合はこのストッパーボタンをご利用下さい。

●通常付属品

- 補助ハンドル、ハンドルジョイント、チャックハンドル

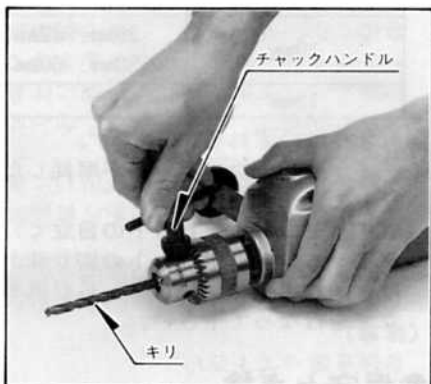
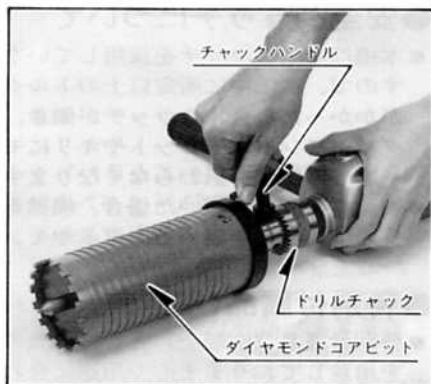
●用 途

- コンクリート、モルタル等の穴あけ。
(乾式ダイヤモンドコアビット使用)
- 各種金属、木材、プラスチック等の穴あけ。



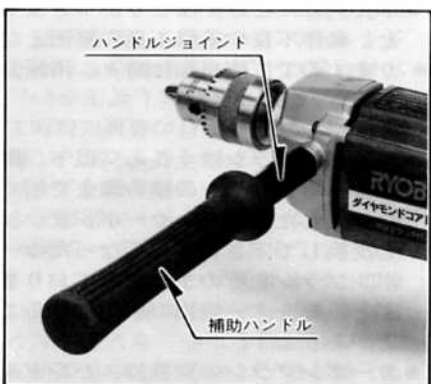
●ダイヤモンドコアビット、キリの取付

- ダイヤモンドコアビットのシャンク部、キリをドリルチャックにさしこみ、3ヶ所の穴にチャックハンドルを順次さしかえ、均等に締め付け固定して下さい。ご使用前に空転させ、ビット、キリに振れがあるようでしたら、もう一度取付け直して下さい。



●補助ハンドルの取付

- 補助ハンドル取付箇所はギヤケースの両側面及び下側にあります。ハンドルジョイント、補助ハンドルの順に取り付けて下さい。補助ハンドル、ハンドルジョイントは右にまわすと締まり、左にまわすとゆるみます。



●加工方法

(コンクリート等の加工)

- まずセンターピンをダイヤモンドコアビットに取り付けます。

センターピンを穴あけのセンター位置に合わせ、ずれないようにゆっくりと切り込んでいき、3mm程度切り込んだ後回転を止め、センターピンを外して切り込み溝に沿って穴あけをしていきます。

最初は少しドリルを傾け(2~3度位)ダイヤモンドコアビットの先端を中心にして、ゆっくりと円を描くように加工します。穴が深くなるに従って傾きを少なくし、穴あけの最後には加工面に垂直になるようにして下さい。

- 穴あけ後はドリルを回転させながらダイヤモンドコアビットを真っ直ぐに引き抜いて下さい。
- ドリルの回転が停止した後、切削片を抜き取って下さい。

(注意)

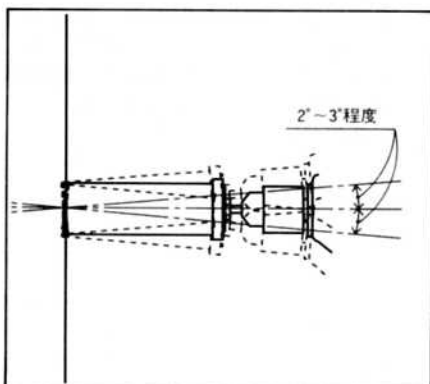
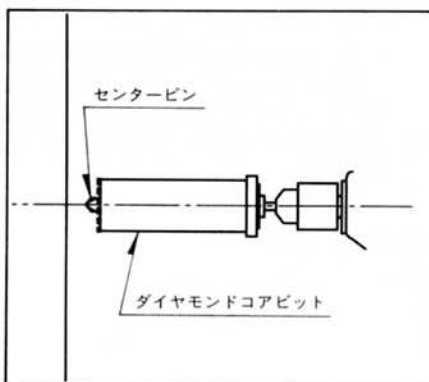
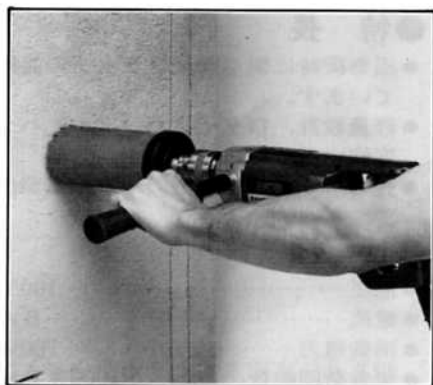
※穴あけ途中でドリルの回転を止めないで下さい。刃先破損の原因となることがあります。

※高所作業等において、穴あけ貫通時の突っ込み、切削片の飛び出し、落下に充分注意して下さい。

※穴あけ直後は、ビットが熱くなっていますのでヤケド等しない様に注意して下さい。また、ビットを水等で急冷しないで下さい。刃先の破損原因となります。

※鉄筋コンクリートの場合、補強用鉄筋の直径12mmまでのものの穴あけができます。直径12mmを超える鉄筋の入ったコンクリートの穴あけはしないで下さい。

※本機は乾式ダイヤモンドコアビット用ドリルです。湿式ダイヤモンドコアビットは使用しないで下さい。



●安全クラッチについて

- 本機は安全クラッチを採用していますので、加工中に所定以上のトルクがかかった場合、クラッチが働き、ダイヤモンドコアビットやキリにモーターの回転が伝わなくなります。
- 安全クラッチが働いた場合、機械を押ししている力を緩める、ダイヤモンド

ドコアビットにかみ込んでいる切削片を取り除くなどして過負荷の原因を取り除いて下さい。

- 安全クラッチが働いたままの状態を続けたり、安全クラッチが頻繁に働くような作業はしないで下さい。

●特別付属品(別販売)

- 特別付属品(別販売)として下表の乾式ダイヤモンドコアビットを用意しておりますので用途に合わせてご利用下さい。

シャンク径	刃先径
10mm	29mm、32mm、35mm、38mm、45mm、 50mm、60mm、65mm、70mm、75mm
13mm	80mm

有効長はいずれも150mmです。

- ※ダイヤモンドコアビットが摩耗した場合、コアビット部のみの交換もできます。

(ダイヤモンドコアビットの目立て)

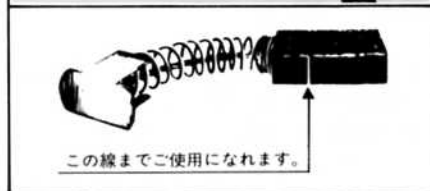
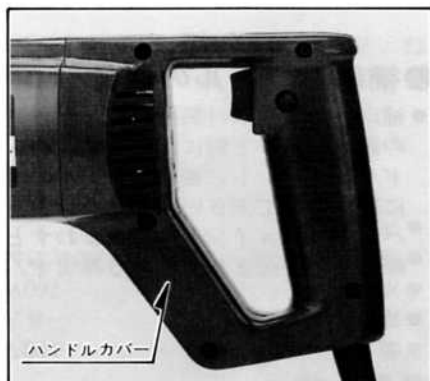
- ダイヤモンドコアビットの切り味が悪くなった場合、通常の穴あけと同じ手順でブロック、G C砥石、砂等に数回穴あけをして目立てを行なって下さい。

●保守と点検

- 本体内部にごみやほこりがつきますと、動作不良や絶縁不良の原因となりますのでご使用後は時々、清掃して下さい。

(カーボンブラシ)

- カーボンブラシは全長の $\frac{1}{3}$ 以下、即ちカーボンブラシの横の線まで短くなりましたら新しいカーボンブラシと交換して下さい。短くなったカーボンブラシをそのまま使っていると、モーター焼損の原因になることがあります。
- カーボンブラシの交換は、ハンドルカバーを取外し、ブラシホルダーを取出して行なって下さい。



この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、
厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、
その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮
なくお買上げの販売店、または最寄りのリョービパ
ワーツール取扱販売店もしくはリョービ販売(株)営業
所にお問い合わせ下さい。

改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元



リョービ販売 株式
会社



リョービ 株式
会社